

公益社団法人日本ライフル射撃協会
2022年度第1回理事会議事録

日時：2022年5月28日（土） 13:30～16:30

場所：東京都 新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square 3階会議室8
オンライン会議（Zoom）

出席者（* テレビ会議による出席）

理事：総数27名中

松丸喜一郎会長 田村恒彦副会長 袴田登喜造副会長兼専務理事 *横山幸子副会長
*永谷喜一郎常務理事 *大野明敏常務理事 *三木容子常務理事 平井宏治常務理事
*佐橋朋木常務理事 *近藤正晃ジェームス常務理事 小風明常務理事 *源洋子理事
*成山悟史理事 *松島愛理事 *上之園正一理事 *酒寄貴瀬理事 *田中僚一郎理事
*横沢聡理事 *尾崎和郎理事 高橋信吾理事 *山下晃弘理事 *仲本渚理事
五十嵐治人理事 *田中辰美理事

以上出席24名

監事：総数2名中 *香西俊輔 *岸高清 以上出席2名

議事録署名人：松丸会長、田村副会長、袴田副会長兼専務理事、横山副会長、香西監事、
岸高監事

袴田専務理事が13時30分に理事24名出席で成立するとの宣言をした。

議長：代表理事 松丸喜一郎

事務局が、オンライン会議システムにより、出席者の音声即時に双方向に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認して議案の審議に入った。

1 会長あいさつ

米国テキサス州で銃の乱射事件が起きており、米国も本格的な銃規制が導入できるかどうかの正念場である。我々銃を使うスポーツにとっては、凶悪犯罪は逆風である。我々団体は、法を遵守し、ガバナンスを徹底した協会運営をしていく必要がある。協会は、社会課題への貢献ができる側面を発信していく。

本日は、決算事業報告、将来構想最終案など重要な内容の項目がたくさんございます。皆さんの協力を得て、円滑に議事を進行していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

<審議事項>

2 会長事項

2.1 将来構想最終報告案

松丸会長より資料「2.1 将来構想最終報告案」にもとづいて説明があった。

将来構想の策定目的は、（１）協会の活動契約や予算立案の指針（２）ガバナンスコード原則1で求められている中長期の基本計画作成と公表（３）協会の将来像をスポーツ庁等ステークホルダーに周知（４）新規スポンサー獲得のセールスツールHP掲示及び印刷物配布を行う。パンフレット印刷経費の85万円は、広報関係費に追加計上したい。補助事業の対象となっているので、具体化したら検討したい。

議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

3 総務委員会

3.1 定時社員総会開催案

袴田専務より資料「3.1 定時社員総会開催案」にもとづいて説明があった。
昨年よりも出席者が多くなることを想定し、多くなっても対応できる様に、例年よりも広い部屋を用意する。
議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

3.2 定款の一部変更案：協会の英語表記名称の変更

松丸会長より資料「3.2 定款の一部変更案：協会の英語表記名称の変更」にもとづいて説明があった。
議長がはかり、英語名称について全員意義なく説明案の通り承認した。
英語略称については、JRSSFとJR SFが示され、JR SFとすることで承認された。

3.3 2021年度事業報告案

袴田専務より資料「3.3 (差替)2021年度事業報告案」にもとづいて説明があった。事前配信した資料は、資料が重複して送信されているので、後日議事録と共に、正したものを配信する。
議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

3.4 2021年度収支決算書案

袴田専務より資料「3.4 (差替)2021年度収支決算書案」にもとづいて説明があった。

3.5 総会議案正会員の変更

袴田専務より資料「3.5 総会議案正会員の変更」にもとづいて説明があり、5月24日に会計監査が実施された事も報告した。
議長が香西・岸高両監事に発言をもとめ、異議はなかった。

3.6 2022年度会長表彰案

袴田専務より、「3.6 2022年度会長表彰案」にもとづいて説明があった。
議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。
三木常務理事より、競技運営委員会として、オリンピックへの袴田副会長、香西監事、溝部参与が会長表彰に追加で推薦された。
香西監事より、組織委員会の職員として働いたので、表彰の趣旨にそぐわないとの発言がなされた。
田村副会長から、感謝状にしてはどうか、という提案がなされた。
袴田専務、溝部参与を会長表彰として追加承認し、香西監事は、本人の意向を伺った上で感謝状、会長表彰を授与することを承認した。

3.7 通報相談窓口担当弁護士事務所変更

袴田専務より、資料「3.7 通報相談窓口担当弁護士事務所変更」にもとづいて説明があった。
小風常務より、現在HPに掲載されている通報相談窓口利用要領が2020年2月20日の変更が反映されていないため、担当弁護士変更と共にただちに新しいものに替える必要がある、との発言があった。
松丸会長より、通報相談窓口利用要領だけでなく、理事会で承認された新たな規程や改定がHPに反映されていないので、法的に義務付けられている業務に次ぐ優先順位の業務と認識して、速やかに反映して欲しいとの要望があった。また、そのため

に新旧規程の整理が必要なため、溝部参与を臨時雇用して作業をお願いしていることが報告された。更に、新たな業務増の対応としては、常勤雇用者を増やすのではなく、マーケティング委員会の活動のように専門的知見を持つ有識者に事務局業務の一部を切り出して担当してもらうことが効果的である。雇用経費については補助金、助成金の活用を検討したいとの方針が示された。
議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

4 推薦委員会

審議事項なし

5 国体委員会

5.1 国体施設基準への50m射座数の削減に関する記載要望への回答

平井委員長より、資料「5.1 国体施設基準への50m射座数の削減に関する記載要望への回答」にもとづいて説明があった。
松丸会長より、「個別案件については相談に応じる」は、基準の方に加筆した方よく、摘要欄に書くと「電子標的装置とする」事について相談に応じるという誤解をうける、との発言があった。
説明案に松丸会長の提案を反映した上で回答とすることを、全員意義なく承認した。

5.2 栃木国体中央派遣役員案

平井委員長より、資料「5.2 栃木国体中央派遣役員案」にもとづいて説明があった。
議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

5.3 国民体育大会の監督へのNRAJ認定B級コーチ資格の義務付けに伴う救済措置等

平井委員長より、資料「5.3 国民体育大会の監督へのNRAJ認定B級コーチ資格の義務付けに伴う救済措置等」にもとづいて説明があった。
栃木国体まで、という条件付きという事で議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。
大木指導者育成部会長より、B級コーチ開催案内をHPに年1、2回する予定である、との説明がなされた。

6 選手強化委員会

6.1 育成要綱改定案

佐橋委員長より、資料「6.1 育成要綱改定案」にもとづいて説明があった。
議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

7 競技運営委員会

7.1 「ビーム・ライフル装置および銃器等の検定基準」改訂および、及び「デジタル射撃装置の検定基準」削除

三木委員長より、資料「7.1 「ビーム・ライフル装置および銃器等の検定基準」改訂および、及び「デジタル射撃装置の検定基準」削除」にもとづいて説明があった。
議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

7.2 「ジュリー制度及びテクニカルデレゲート設置規程」改定

三木委員長より、資料「7.2 「ジュリー制度及びテクニカルデレゲート設置規程」改定」にもとづいて説明があり、毎年TD講習会を行う、との説明があった。
議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

7.3 70歳以上の2/27ジュリー講習会受講者の扱いについて

三木委員長より、資料「7.3 70歳以上の2/27ジュリー講習会受講者の扱いについて」にもとづいて説明があり、ジュリー名簿あらためTD名簿とする、との説明があった。

議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

7.4 BR, BP本選ルール改定

三木委員長より、資料「7.4 BR, BP本選ルール改定」にもとづいて説明があった。

五十嵐治人理事より、BRはいつから適用なのか、変更理由は何か、試合がすでに始まっている、との意見があった。

三木委員長より、国体を除き、本日から適用される、との説明があった。60発について継続検討とし、40発競技だけ承認という形よいか、との提案があった。

議長がはかり、全員意義なく40発競技については説明案の通り承認し、60発競技については継続検討することで承認された。

7.5 公認審判員

三木委員長より、資料「7.5 公認審判員」にもとづいて説明があった。

議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

7.6 日本記録公認

栗生部会長より、資料「7.6 日本記録公認」にもとづいて説明があった。

議長がはかり、全員意義なく説明案の通り承認した。

8 普及・生涯スポーツ委員会

審議事項なし

9 マーケティング委員会

審議事項なし

10 コンプライアンス委員会

10.1 倫理規程改定

小風委員長より、資料「10.1 倫理規程改定」にもとづいて説明があった。

藤井彌事務局長より、2018年12月15日の理事会における、「協会での文書等における年号の西暦適用開始について」の総務委員会報告にあわせて西暦にする必要があるのではないか、との質問があった。

元号とするか西暦とするかについて確認が必要なため、案における年の記述を〇年としてはどうか、との提案が小風委員長よりなされた。

議長がはかり、全員意義なく修正案の通り承認した。

<報告事項>

11 会長報告

11.1 2021年ふるさと納税による新宿区支援金通知報告

松丸会長より、資料「11.1 2021年ふるさと納税による新宿区支援金通知報告」にもとづいて160万円の寄付があったと報告があり、募集期間が短期であったにも拘わらず予想以上の金額であった、加盟団体への還付については、総務委員会にて検討するとの説明があった。

11.2 助成金の紹介と活用検討

松丸会長より、「R4競技団体の組織基盤強化支援事業（抜粋）」、「NFくじ助成金認定抜粋」が画面共有され、「基盤強化支援」は、前述の専門家雇用や将来構想関

係経費が対象にするか打診する。また多くの団体が活用している「くじ助成」は、協会の主事業である「全日本大会の開催」や「射撃体験会」、「タレント発掘一貫指導事業」を補助対象事業として申請すべく事務局、委員会と検討する。今後、収入が減る分の代替財源として補助事業、助成事業の活用が非常に重要である、との説明がなされた。

11.3 常務理事会の6月開催

例年は、理事会の前に常務理事会を必ず行っていたが、2020年度と2021年度はオリンピックが予定されていたため、第二回理事会前の常務理事会実施を見送っていた。オリンピックが終了したので、2022年度は、例年通り6月29日

(水)に常務理事会を行う事が報告された。

12 総務委員会報告

12.1 ライスポへの記録掲載終了のお知らせ（広報部会）

横山委員長より、記録がホームページに掲載されていること、及び事務局の負担軽減のため、ライスポ7月号から記録の掲載は行わないとの報告があった。

12.2 海外PRビデオの作成（広報部会）

松丸会長より、資料「12.2 海外PRビデオの作成（広報部会）」にもとづいて報告があり、4/5助成される補助金を活用予定であり、進捗としては現在業者選定及び内容確認をしている、との報告があった。

12.3 ニチラネット電子会員証提供開始（モダナイズ部会）

谷川部会長より、口頭にて、モダナイズ部会がニチラネットの保守点検、紙業務の電子化、内部システムの近代化を進めている、との報告があった。

また、電子会員証を第一弾としてリリースし、正式な会員証として有効である、との報告があった。

12.4 承認後の規則、規約の更新手順

袴田専務より、提案した委員長は、案が承認されたら、完全版の規則、規約を事務局に送ってHPにあげるようにする、との説明があった。

13 推薦委員会報告

13.1 審査結果報告

大野委員長より、「13.1 審査結果報告」にもとづいて報告があり、加盟団体には、被推薦者が基準を満たしているか確認していただきたい、との依頼があった。田中僚一郎副委員長より、以下の説明があった。

1) 対象となる競技会実績は、対象となる許可期間から6か月遡った期間から開始する。

2) 空気拳銃再推薦において点数や競技回数が基準に達していない場合、今までは上申書を出す方式だった。今後は、ニチラネットの推薦委員会へ直接対話掲示板にて問い合わせを行う。

本件について、ブレッテン、掲示板、ホームページなどで告知する。

上記は、次回の推薦委員会で対象となる推薦は、適用対象になる。

13.2 競技会報告書及び段級申請の速やかな提供願い

大野委員長より、速やかな推薦手続きを実現するため、競技会報告書及び段級申請を速やかに提供いただきたい、との依頼がなされた。

14 国体委員会報告

14.1 栃木国体要項変更（ファイナル）報告

平井委員長より、栃木国体のファイナル競技は、競技運営委員会の決定に従い、TOKYO2020ルールを適用する、との報告があった。

15 選手強化委員会報告

15.1 ISSFワールドカップ カイロ大会派遣報告

佐橋委員長より、資料「15.1 ISSFワールドカップ カイロ大会派遣報告」にもとづいて報告があった。

15.2 ISSFワールドカップジュニア(ズール大会)報告

佐橋委員長より、資料「15.2 ISSFワールドカップジュニア(ズール大会)報告」にもとづいて報告があった。

15.3 アジア競技大会及びFISU ワールドユニバーシティーゲームズ(2021/成都延期報告

佐橋委員長より、資料「15.3 アジア競技大会及びFISU ワールドユニバーシティーゲームズ(2021/成都)延期報告」にもとづいて報告があった。

15.4 ISSFワールドカップ バクー大会派遣に関して

佐橋委員長より、資料「15.4 ISSFワールドカップ バクー大会派遣に関して」にもとづいて報告があった。

15.5 遠征時の食事代補助の改定

佐橋委員長より、資料「15.5 遠征時の食事代補助の改定」にもとづいて報告があった。

15.6 エリートアカデミー2023選抜に関して

佐橋委員長より、資料「15.6 エリートアカデミー2023選抜に関して」にもとづいて報告があった。

16 競技運営委員会報告

16.1 クウェート・日本国交樹立60周年記念オリパラミックス大会報告

三木委員長より、口頭にて、「クウェート・日本国交樹立60周年記念オリパラミックス大会報告」についてライフルススポーツをご覧くださいよう、お願いがあった。

16.2 認定銃種の整理

三木委員長より、口頭より、ニチラネットと公認されている銃種が整理されていないので、認定銃種はストック名を削除したものに整理していく、との報告があった。

17 普及・生涯スポーツ委員会

17.1 6月開催予定：ビームライフル・ビームピストル射撃体験会

栗生部会長より、資料「6月開催予定：ビームライフル・ビームピストル射撃体験会」にもとづいて報告があった。

18 マーケティング委員会

18.1 デジタル射撃、eスポーツプロジェクト報告

近藤委員長より、資料「デジタル射撃、eスポーツプロジェクト報告」にもとづいて報告があり、デジタル射撃開発のためのプロトタイプ検討は15万円程度、との説明があった。

19 コンプライアンス委員会

報告事項なし

20 会務報告

20.1 オリパラのレガシーパンフレット受領報告

袴田専務より、資料「20.1 オリパラのレガシーパンフレット受領報告」にもとづいて報告があり、情報共有として理事に配布するので各種広報活動に利用してほしい、DVDは必要な方に貸し出すので事務局まで申し出てほしい、との報告があった。

16時30分議長が閉会を宣言した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事および監事が記名押印する。

2022年5月28日

議事録署名人

公益社団法人日本ライフル射撃協会

議長・代表理事

松丸喜一郎

松丸喜一郎



代表理事

田村恒彦

田村恒彦



代表理事

袴田登喜造

袴田登喜造



代表理事

横山幸子

横山幸子



監事

香西俊輔

香西俊輔



監事

岸高 清

岸高 清



以上

以上

